

<p>1 機能の内容</p>	<p>輻輳制御機能に以下の内容を盛り込む。</p> <p>(1) 出回線群単位で輻輳検出及び制御を行う 交換機からの出回線群単位での輻輳の発生状況を監視し、それが交換機全体の輻輳にまで及ぶことを事前に検出し、その状況をトラヒック制御システムに通知する。また、出回線群単位に加わる呼について、トラヒック制御システムからの指示により輻輳案内トーキ又は他の迂回ルートへ誘導する。</p> <p>(2) 遠隔指示により回線の一部を閉塞する ある交換機で輻輳が発生した場合にその交換機へ流入する呼を抑制するため、トラヒック制御システムからの指示により一部回線を閉塞する。</p> <p>(3) 輻輳制御済みの情報を送受信する ある交換機で輻輳制御を行った場合に、その制御で疎通された呼について、共通線信号 (IAM) に制御の有無を表すフラグ及び制御対象番号の桁数情報を付与し、交換機間で送受信する。</p> <p>(4) 留保回線数を変更する 災害発生時等における回線群輻輳時に、災害時優先電話呼の疎通を確保するため、トラヒック制御システムからの指示によりその回線群の優先発ユーザ留保回線数を一時的に拡張する。</p> <p>(5) ダイヤル情報の末尾を判定しサービス制御局 (NSP) へのアクセスを制御する ダイヤル情報の末尾でサービス制御を行う NSP の輻輳を抑制するため、トラヒック制御システムからの指示により、末尾のダイヤル情報で制御対象呼を判定し、NSP へのアクセスを制御する。</p>
<p>2 提供条件</p> <p>(1) 提供交換機等の機種</p> <p>(2) 提供交換機等の設置地域又は設置予定地域</p> <p>(3) 提供回線種別</p> <p>(4) 接続箇所</p> <p>(5) その他の提供条件</p>	<p>(1) D70、D60、MHN-S</p> <p>(2) 全国</p> <p>(3) 本機能に関して提供回線種別に条件はない。</p> <p>(4) 市内交換機接続、市外交換機接続、端末回線線端接続</p> <p>(5) 本機能に関して特別な提供条件はない。</p>
<p>3 使用する番号</p>	<p>なし</p>
<p>4 課金</p>	<p>本機能に関して交換機における特別な課金処理はない。</p>
<p>5 インタフェース</p> <p>(1) ユーザ・網インタフェース</p> <p>(2) 網間インタフェース</p> <p>(3) 保守運用インタフェース</p>	<p>(1) 本機能の利用に伴うインタフェースの変更はない。</p> <p>(2) 1項(3)の輻輳制御済みであることを通知するために、ISUP 信号の IAM 信号上に制御通過フラグ及び制御桁数情報を新設し、送受信を行う。</p>

	(3) 本機能の利用に伴うインターフェースの変更はない。
6 利用条件の設定	なし
7 機能の変更又は追加の別	機能の変更
8 関連する機能及び設備並びに計画との関係	なし
9 自己利用、共同利用又は他事業者利用の別	共同利用
12 工事開始年月日	平成10年7月1日以降工事開始予定
13 提供予定時期	平成11年度第3四半期以降提供開始予定
14 計画の設定又は変更年月日	平成10年2月6日
15 計画の設定又は変更理由	ネットワークの高度化